

東京湾海況情報 24-5

東京湾水質調査結果 (平成24年8月)

(平成24年8月22日発行)

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 8/6：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(8/6)、東京湾口海況図(8/6)、
 モニタリングポスト(8/6：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)
 東京都環境局(8/9)、神奈川県水産技術センター(8/9)

【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温は(図1)はほぼ26~28℃台で、全域で平年より約1~2℃高くなっています。塩分は25~33PSU前半で、東京灯標~船橋・千葉灯標にかけての北部沿岸では28PSU以下と低塩分化しています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみると、低温(18~20℃台)・高塩分(33.5PSU以上)の水塊が内湾北部海域まで達しています。

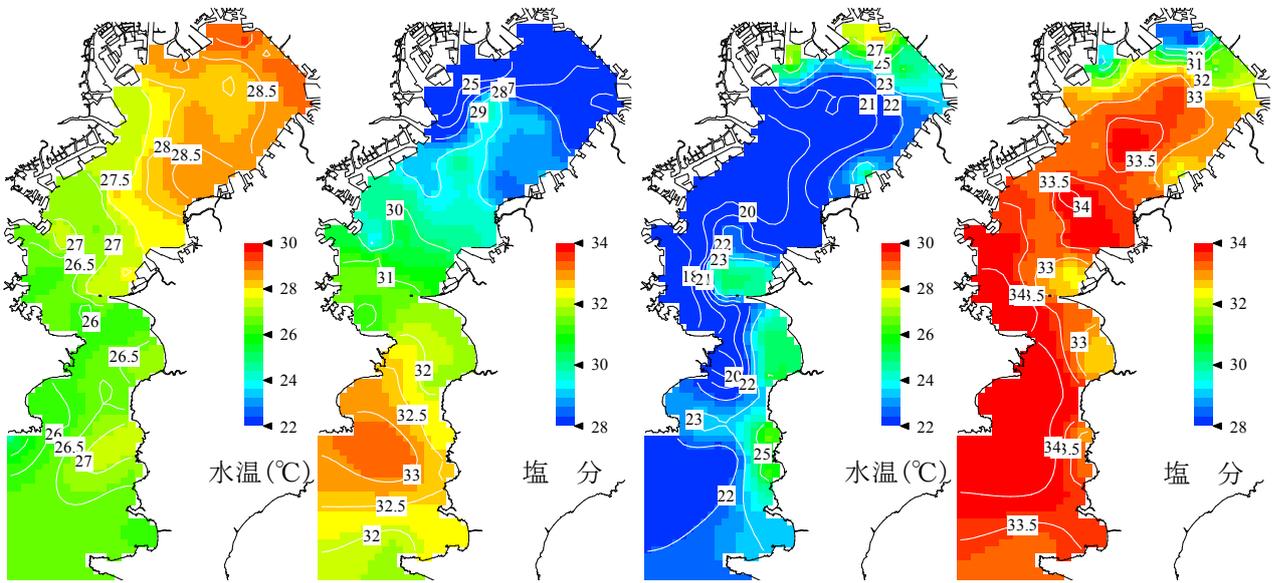


図1 水温・塩分分布 (表層)

図2 水温・塩分分布 (底層)

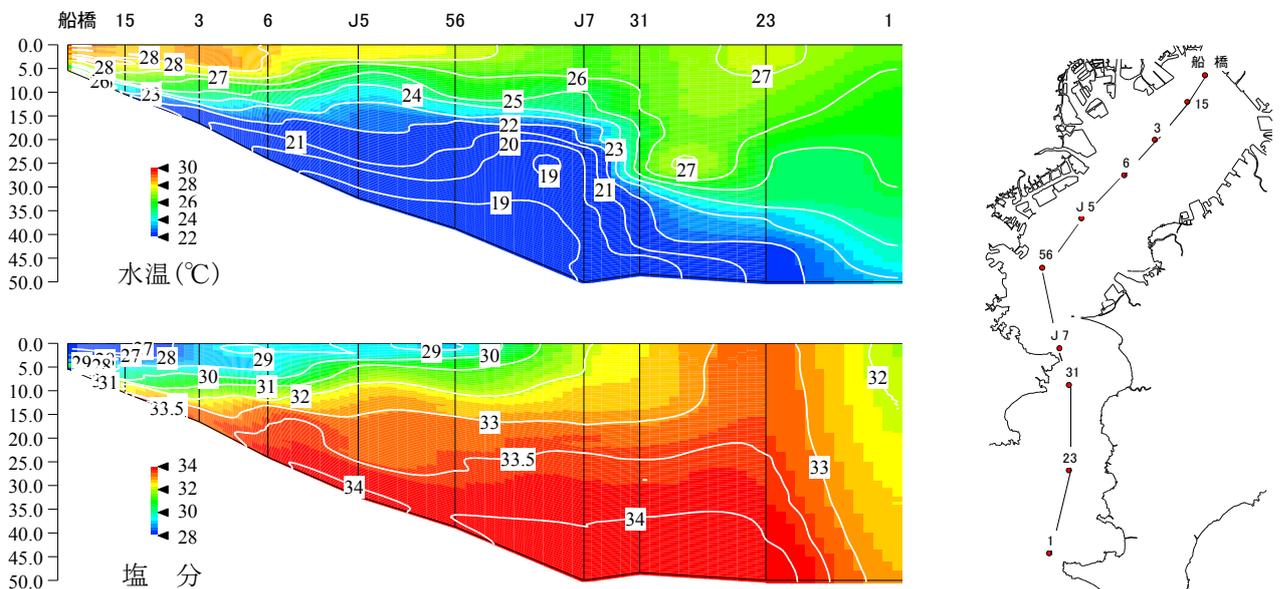


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は内湾中央から北部で発生し、北部ではpHは8.4~8.6、透明度1.4~1.7mで、水色も褐~茶褐色を呈する程の状態です。

優占種はケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)、鞭毛藻のケラチウム(*Ceratium fusus*.)でした。

一方、内房海域では北部でケラチウム(*Ceratium fusus*.)とキートケロス(*Cheatocecos pseudocurvisetum*)が優占していました。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

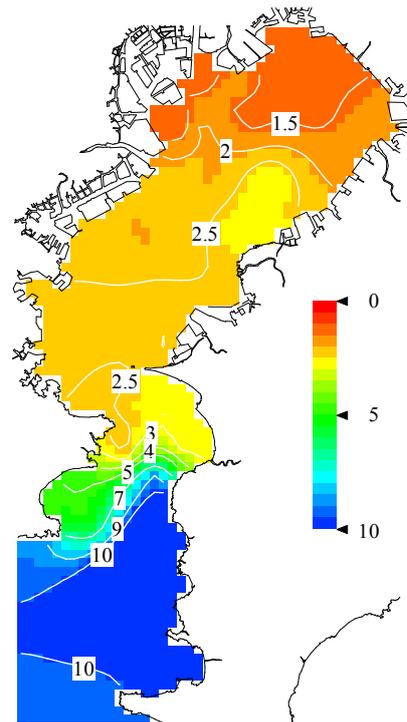


図4 透明度の分布(m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)はほぼ全域で低下し、1ml/L以下の強い貧酸素水塊が中央から北部の広い範囲で分布しています。

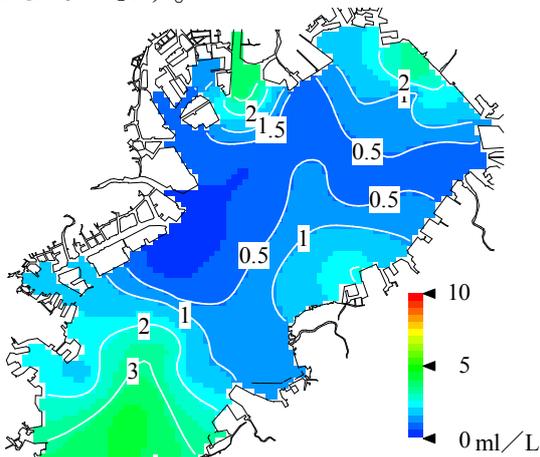


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

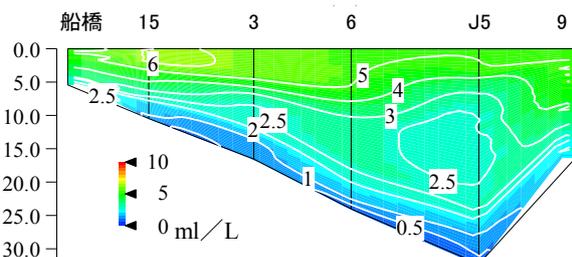


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は平年より少なく、内湾の東側から内房北部では溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO₄-P)ともかなり少なくなっています。

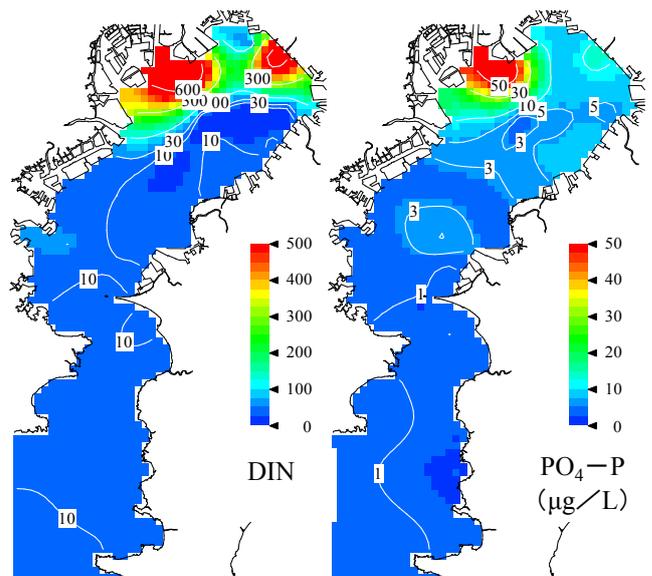


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮は N型基調で推移し、その流軸は、6日現在御蔵島付近を通り、房総半島南東岸に接岸しながら東方向に流れています(図8)。

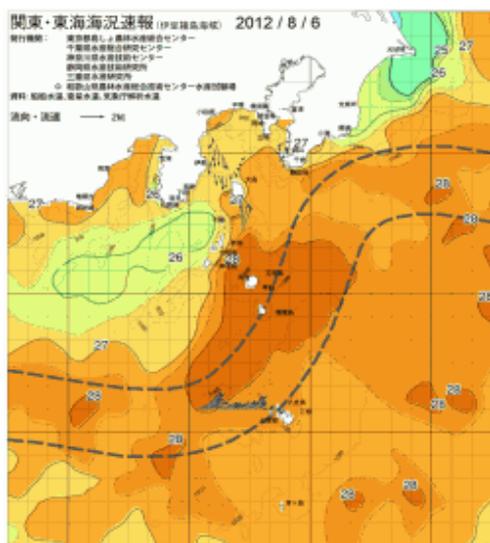


図8 黒潮の動き (平成24年 8月 6日)

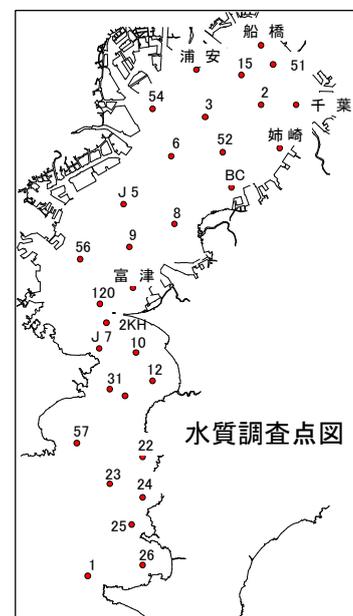


表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2002~2011年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)	
内湾	船橋	29.2 (27.4)	26.68 (24.52)	1.4 (1.5)	8.4 (8.7)	2.3 (4.3)	45 (52)	48 (168)	6 (19)	52.2
	st.15	28.1 (27.5)	26.44 (25.69)	1.4 (1.5)	8.5 (8.8)	1.0 (2.6)	61 (36)	200 (114)	7 (12)	99.4
	st.3	28.5 (26.8)	28.75 (26.95)	1.6 (2.0)	8.4 (8.7)	0.7 (1.2)	17 (39)	19 (81)	5 (12)	52.6
	st.6	27.9 (26.8)	28.99 (26.97)	2.1 (2.0)	8.4 (8.7)	0.2 (1.1)	19 (41)	20 (87)	4 (11)	32.5
	st.9	27.1 (25.8)	29.86 (29.27)	2.6 (2.4)	8.4 (8.5)	1.6 (2.5)	3 (32)	3 (95)	5 (11)	16.7
	st.BC (盤洲Cブイ)	28.5 (27.0)	28.75 (28.49)	2.5 (1.9)	8.4 (8.6)	2.1 (3.4)	17 (29)	22 (75)	5 (11)	16.4
	st.8 (盤洲A南)	27.9 (26.1)	29.51 (29.60)	2.5 (2.3)	8.3 (8.6)	0.8 (2.4)	5 (30)	5 (67)	2 (10)	11.9
	富津	27.5 (25.2)	30.62 (30.46)	2.5 (2.8)	8.2 (8.4)	2.7 (2.8)	13 (29)	13 (62)	ND (7)	24.3
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	26.5 (25.3)	31.44 (30.95)	2.5 (4.3)	8.4 (8.3)		1 (31)	2 (59)	ND (11)	14.5
	st.31	26.4 (25.0)	32.41 (31.76)	3.0 (7.3)	8.4 (8.3)		3 (27)	3 (47)	1 (6)	9.1
	st.23	27.2 (25.3)	33.25 (32.78)	14.0 (14.1)	8.3 (8.2)		8 (25)	9 (32)	ND (2)	0.4
	st.1	26.3 (24.8)	31.71 (33.54)	10.0 (16.0)	8.2 (8.1)		9 (25)	11 (31)	2 (2)	2.2
	st.10 (下洲沖)	26.0 (24.9)	31.80 (31.57)	3.0 (4.5)	8.4 (8.3)		13 (27)	13 (51)	1 (7)	5.8
	st.12 (湊沖)	26.8 (25.4)	31.79 (31.62)	3.0 (5.1)	8.4 (8.3)		5 (25)	5 (37)	ND (4)	
	st.22 (保田沖)	27.4 (25.6)	32.12 (33.25)	17.0 (12.3)	8.3 (8.3)		5 (24)	5 (32)	ND (2)	0.5
	st.24 (富山沖)	26.6 (25.3)	32.45 (33.34)	13.5 (11.1)	8.3 (8.3)		1 (22)	1 (26)	ND (2)	0.7
	st.26 (館山湾内)	26.2 (25.1)	32.33 (33.51)	12.0 (14.1)	8.3 (8.2)		8 (21)	8 (26)	ND (2)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。